

# 2022年 LDサポート・療育サポート・療育ソラアルSSE・PIA 放課後等デイサービス・児童発達支援ガイドライン自己評価表 まとめ

2021年3月31日

LDサポート・療育 ソラアルSSE  
ソラアルPIA

## (目的)

指定の保護者アンケートの結果より、当事業所のサービス提供上の満足度・不満足度および課題(改善目標)を抽出する。

## (アンケート回収状況)

利用者への個人負担請求書にアンケートの趣旨・記入表を同封し、記入をお願いする。請求発生児童保護者ソラアルSSE全51名、ソラアルPIA全21名(SSEと両利用者)へのアンケート用紙配布。

### ●回収数 全22通/利用56名

放デイSSEのみ利用	5通
放デイPIAのみ利用	2通
放デイSSE/PIA共通	14通
児発SSE	3通

## (項目別の結果と課題)

### A.【環境・体制整備面】

スペース・専門性・設備の安全性(①②③)に関して、放デイ/児発ともにほぼ好意的な評価を頂けた。

安全面に関しては、駅までの明るい道順での送迎の徹底を図っており、駅前交番への事業所周知の継続などもあり、コメント面での不安意見は見られなかった。

### B.【適切な支援の提供面】

放デイについて、「サービス計画」(④)、「活動プログラムの工夫」(⑤)に関しては、放デイ・児発とも特に大きな不満点はなし。各種連携についても概ね不満はないが、ただし連携の説明や必要な利用者とのメリハリを持った対応のため、それが活動に見えにくさになっている点は否めない。

登録利用者との人数対比で、全利用に対して継続的・専属的な対応の困難さがあるが、提携クリニックや、学校、進学への連携実績など件数は年々増加しており、個人情報保護を徹底した上での内容面の掲示・告知などの方策は必要かも知れない。

## C.【保護者への説明等の面】

昨年同様、大きく目立ったのは、「保護者同士の連携」(⑩)での「どちらとも言えない」回答である。アンケート時及び前年は、コロナ禍が継続している最中であり、改まった保護者会等は行っていないためと考えられる。

また児童発達に関して、「活動内容や行事予定などの発信」(⑫)も目立ったが、こちらも同様の理由からだと考えられる。

## D.【非常時等の対応面】

災害時などの緊急時の対処の仕方や、訓練(⑮)に関しても、「どちらとも言えない」票が目立ってみられたが、所内掲示やHPでの掲示が必要かも知れない。

昨年より項目に加えた「感染症配慮」に関して(⑯)は、ほぼ対策の認知がされていると考えられる。換気面、マスク着用、人身密度への配慮、衛生用品や空気清浄機等の設備面、感染者発生時の説明等、ここはしっかり行っているとの自負もあり、素直に受け止めたい。

## E.【満足度面】

子どもの通所楽しみ(⑰)は、概ね満足、との回答であった。ただし、一部で、なかなか場所に馴染んでもらえなかったり、通所に関して中断となった利用ケースも把握しており、このあたり処置法は引き続きの注意を心がけたい。

※ 別設問として「2018年以降の利用希望」を設けているが、ほぼ、「利用継続」の回答であった。

## 【まとめ】

当施設が第一義で考えている「子どもが楽しみに通所しながら向上してゆく」に関する評価は得られているように見受けられる。

主に保護者の方個々とのコミュニケーション面のへ配慮や運営説明(こちらは掲示やお知らせ配布などの別手段が必要かも知れない)等を注意してきたが、コロナ禍での問題等もあり、課題に関しては、再度のブラッシュアップを意識していく。